

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成30年1月12日
【四半期会計期間】	第36期第2四半期(自平成29年9月1日至平成29年11月30日)
【会社名】	株式会社ウッドフレンズ
【英訳名】	WOOD FRIENDS CO.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 前田和彦
【本店の所在の場所】	名古屋市中区栄四丁目5番3号
【電話番号】	052(249)3503
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 伊藤嘉浩
【最寄りの連絡場所】	名古屋市中区栄四丁目5番3号
【電話番号】	052(249)3504
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 伊藤嘉浩
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第35期 第2四半期連結 累計期間	第36期 第2四半期連結 累計期間	第35期
会計期間	自 平成28年6月1日 至 平成28年11月30日	自 平成29年6月1日 至 平成29年11月30日	自 平成28年6月1日 至 平成29年5月31日
売上高 (千円)	14,203,749	14,649,128	29,615,522
経常利益 (千円)	434,712	392,554	809,583
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (千円)	274,157	229,956	530,991
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	300,761	256,231	573,323
純資産額 (千円)	5,089,532	5,472,054	5,328,270
総資産額 (千円)	18,070,708	23,051,927	19,412,575
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	186.87	158.08	363.41
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	26.7	22.4	26.0
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	810,026	3,139,596	887,836
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	75,921	941,131	647,953
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	604,031	3,516,059	88,457
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	4,170,195	3,626,878	4,191,546

回次	第35期 第2四半期連結 会計期間	第36期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成28年9月1日 至 平成28年11月30日	自 平成29年9月1日 至 平成29年11月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	190.16	70.15

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容において、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成29年11月30日)の概況は、以下のとおりであります。

当地域の不動産業界

- ・名古屋圏の都市部を中心として商業地・住宅地ともに地価上昇が続いており、とりわけ名古屋市内各地で開発の動きが広がっております。
- ・愛知県の新設住宅着工戸数は、前年同時期と比べて増加基調が続いております。特に分譲戸建住宅市場におきましては、住宅ローンの低金利等に支えられた住宅取得環境の下、需要増への期待から着工数が堅調に推移しました。短期的には、このような傾向が続くと予想しております。

当社の取り組み

- ・当グループの主力事業である分譲住宅事業において、事業工期短縮とコストダウンを前期からの継続的な重要課題として、生産・販売プロセスの改善に取り組んでまいりました。
- ・将来の事業発展のため、集成材製造・プレカット加工等を行う岐阜工場の生産能力を拡張するための設備投資としてプレカット工場棟を新設し、稼働いたしました。また、木質建材の内製化を更に進めるため、住宅用木質パネルを製造する工場棟の建設に着手しました。この工場の稼働は平成30年6月を予定しております。
- ・名古屋港管理組合が公募していた「名古屋港ゴルフ倶楽部(富浜コース)」(愛知県弥富市)の指定管理者に当社が指定されました。平成19年から愛知県初のPFI事業として実施しております「ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場」(愛知県尾張旭市)のオペレーションノウハウを活用し、指定管理期間である平成30年度から4年間に亘って管理運営を行っていく予定であります。

当第2四半期連結累計期間の業績

< 連結業績 >

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第2四半期実績	14,649百万円	503百万円	392百万円	229百万円
前年同期比	3.1%増	10.1%減	9.7%減	16.1%減

	販売戸数	内訳		
		戸建住宅	集合住宅 (新築)	集合住宅 (中古)
当第2四半期実績	387戸	361戸	-	1棟26戸
前年同期実績	331戸	331戸	-	-
前期実績(通期)	729戸	717戸	2棟12戸	-

<セグメントの実績>

a 住宅事業

戸建分譲住宅の開発・販売が主力。住宅建設資材の製造・販売も行う。

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第2四半期実績	13,168百万円	616百万円	戸建分譲住宅の売上単価が低下したものの、生産効率と販売効率が向上したことにより、販売戸数が増加し利益率も改善。また、建設資材の外販量も増加。
前年同期比	0.7%増	4.6%増	

b AM(アセットマネジメント)事業

ゴルフ場並びに公共施設の運営管理及び施設管理

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第2四半期実績	898百万円	225百万円	業績は概ね計画どおり進捗。
前年同期比	2.4%増	0.2%減	

c 都市事業

収益型不動産の開発並びに施設等の維持管理等

	売上高	セグメント損失	前年同期比の主因
当第2四半期実績	550百万円	59百万円	長期化した物件を売却処分したこと、完成工事補償引当金を積み増し計上したことにより、増収となったが、適正な利益確保ができなかった。
前年同期比	324.4%増	-	

d その他の事業

上記以外の外部顧客への販売・サービスの提供

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第2四半期実績	83百万円	8百万円	宅地開発を行わなかったために減収減益となったが、業績は概ね計画どおり進捗。
前年同期比	52.4%減	61.9%減	

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産が3,288百万円増加(前年同期は104百万円の減少)したこと等により、3,139百万円の支出(前年同期は810百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により、941百万円の支出(前年同期は75百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入れによる収入等により、3,516百万円の収入(前年同期は604百万円の支出)となりました。

以上の結果により、現金及び現金同等物は564百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末残高は3,626百万円(前年同期比13.0%減)となりました。

(3) 財政状態の分析

資産

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金が減少したものの、たな卸資産と有形固定資産が増加したことを主な要因として、前連結会計年度末と比較し、3,639百万円増加し、23,051百万円となりました。

負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、たな卸資産の取得にかかる借入金の増加を主な要因として、前連結会計年度末と比較し3,495百万円増加し、17,579百万円となりました。

純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、利益剰余金の増加を主な要因として、前連結会計年度末と比較し143百万円増加し、5,472百万円となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,800,000
計	4,800,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年11月30日)	提出日現在発行数(株) (平成30年1月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	1,480,000	1,480,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	1,480,000	1,480,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年9月1日～ 平成29年11月30日	-	1,480,000	-	279,125	-	269,495

(6)【大株主の状況】

平成29年11月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
ベストフレンズ有限会社	愛知県春日井市月見町60 - 2	616,200	41.63
株式会社東邦レオホールディングス	大阪府中央区上町1 - 1 - 28	120,000	8.10
前田 和彦	愛知県春日井市	44,200	2.98
前田 扶美子	愛知県春日井市	44,200	2.98
橘 俊夫	堺市南区	44,100	2.97
松岡 明	愛知県一宮市	44,000	2.97
柴田 芳	名古屋市中区	40,000	2.70
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2 - 7 - 1	24,000	1.62
株式会社りそな銀行	大阪府中央区備後町2 - 2 - 1	24,000	1.62
株式会社十六銀行	岐阜県岐阜市神田町8 - 26	24,000	1.62
計	-	1,024,700	69.23

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 21,700		単元株式数は100株であります。
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,457,800	14,578	単元株式数は100株であります。
単元未満株式	普通株式 500		
発行済株式総数	1,480,000		
総株主の議決権		14,578	

【自己株式等】

平成29年11月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
株式会社ウッドフレンズ	名古屋市中区栄4 - 5 - 3	21,700	-	21,700	1.46
計	-	21,700	-	21,700	1.46

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づき、同規則及び「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)により作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成29年9月1日から平成29年11月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成29年6月1日から平成29年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,208,148	3,640,679
完成工事未収入金	5,556	33,915
売掛金	344,241	311,835
販売用不動産	4,688,898	5,212,507
仕掛販売用不動産	5,323,007	7,057,836
商品及び製品	203,810	238,897
未成工事支出金	1,287,082	2,359,715
原材料	248,170	149,235
仕掛品	97,846	119,474
その他	507,586	691,787
流動資産合計	16,914,349	19,815,885
固定資産		
有形固定資産	2,061,929	2,810,561
無形固定資産	134,194	121,696
投資その他の資産	302,101	303,783
固定資産合計	2,498,225	3,236,041
資産合計	19,412,575	23,051,927
負債の部		
流動負債		
工事未払金	1,471,647	1,491,355
買掛金	365,521	380,430
1年内償還予定の社債	153,400	139,400
短期借入金	5,881,562	8,125,535
1年内返済予定の長期借入金	1,469,540	1,919,774
未払法人税等	148,146	145,566
賞与引当金	151,357	11,355
役員賞与引当金	32,000	-
完成工事補償引当金	142,922	134,543
その他	707,084	787,577
流動負債合計	10,523,182	13,135,538
固定負債		
社債	309,600	323,900
長期借入金	2,289,116	3,270,470
退職給付に係る負債	1,194	1,324
役員退職慰労引当金	138,100	142,342
資産除去債務	16,102	12,983
その他	807,008	693,312
固定負債合計	3,561,122	4,444,334
負債合計	14,084,304	17,579,872

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	280,619	284,956
利益剰余金	4,538,442	4,637,806
自己株式	55,569	41,762
株主資本合計	5,042,617	5,160,126
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,337	1,467
その他の包括利益累計額合計	1,337	1,467
非支配株主持分	284,315	310,460
純資産合計	5,328,270	5,472,054
負債純資産合計	19,412,575	23,051,927

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
売上高	14,203,749	14,649,128
売上原価	12,215,182	12,583,702
売上総利益	1,988,566	2,065,426
販売費及び一般管理費	1,427,933	1,561,522
営業利益	560,632	503,904
営業外収益		
受取利息	15	22
受取手数料	9,049	8,889
その他	12,424	10,954
営業外収益合計	21,489	19,866
営業外費用		
支払利息	115,635	111,368
その他	31,773	19,847
営業外費用合計	147,409	131,216
経常利益	434,712	392,554
特別損失		
固定資産除却損	2,974	11,124
特別損失合計	2,974	11,124
税金等調整前四半期純利益	431,737	381,430
法人税等	131,866	125,328
四半期純利益	299,870	256,101
非支配株主に帰属する四半期純利益	25,712	26,144
親会社株主に帰属する四半期純利益	274,157	229,956

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益	299,870	256,101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	891	130
その他の包括利益合計	891	130
四半期包括利益	300,761	256,231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	275,048	230,086
非支配株主に係る四半期包括利益	25,712	26,144

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	431,737	381,430
減価償却費	144,441	202,450
受取利息及び受取配当金	804	614
支払利息	115,635	111,368
売上債権の増減額(は増加)	4,405	4,047
たな卸資産の増減額(は増加)	104,274	3,288,851
仕入債務の増減額(は減少)	312,891	34,616
その他	94,300	358,084
小計	1,018,282	2,913,638
利息及び配当金の受取額	804	614
利息の支払額	117,926	106,318
法人税等の支払額	91,134	120,254
営業活動によるキャッシュ・フロー	810,026	3,139,596
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	53,319	923,121
無形固定資産の取得による支出	17,821	19,617
その他	4,779	1,606
投資活動によるキャッシュ・フロー	75,921	941,131
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	7,028,153	8,502,659
短期借入金の返済による支出	7,639,757	6,258,688
長期借入れによる収入	1,487,000	2,357,800
長期借入金の返済による支出	1,403,896	926,212
社債の発行による収入	98,585	98,585
社債の償還による支出	64,500	99,700
自己株式の売却による収入	-	18,144
リース債務の返済による支出	51,182	46,279
配当金の支払額	58,434	130,252
財務活動によるキャッシュ・フロー	604,031	3,516,059
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	130,073	564,668
現金及び現金同等物の期首残高	4,040,121	4,191,546
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 4,170,195	1 3,626,878

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第 2 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
販売顧客の金融機関からの借入金	647,951千円	291,437千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
給料手当	352,288千円	378,003千円
賞与引当金繰入額	11,759	9,005
広告宣伝費	215,773	244,728
販売手数料	180,636	217,189
完成工事補償引当金繰入額	60,060	26,531

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年6月1日 至 平成29年11月30日)
現金及び預金勘定	4,186,396千円	3,640,679千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	16,201	13,801
現金及び現金同等物	4,170,195	3,626,878

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年6月1日 至 平成28年11月30日)

1 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年8月25日 定時株主総会	普通株式	58,684	40	平成28年 5月31日	平成28年 8月26日	利益剰余金

2 株主資本金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年6月1日 至 平成29年11月30日)

1 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年8月29日 定時株主総会	普通株式	130,591	90	平成29年 5月31日	平成29年 8月30日	利益剰余金

2 株主資本金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	住宅事業	A M事業	都市事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	13,078,340	876,805	118,690	129,912	14,203,749	-	14,203,749
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,018	669	11,008	46,099	58,795	58,795	-
計	13,079,359	877,474	129,699	176,011	14,262,544	58,795	14,203,749
セグメント利益又はセ グメント損失()	589,224	225,593	10,660	22,145	826,302	265,669	560,632

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。

2 セグメント利益の調整額 265,669千円には、セグメント間取引消去4,258千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 269,928千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成29年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	住宅事業	A M事業	都市事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	13,168,549	898,390	541,506	40,682	14,649,128	-	14,649,128
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	519	8,925	43,114	52,559	52,559	-
計	13,168,549	898,909	550,432	83,796	14,701,688	52,559	14,649,128
セグメント利益又はセ グメント損失()	616,589	225,061	59,934	8,433	790,149	286,245	503,904

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。

2 セグメント利益の調整額 286,245千円には、セグメント間取引消去15,236円、各報告セグメントに配分していない全社費用 301,481千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額	186円87銭	158円08銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	274,157	229,956
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純利益金額(千円)	274,157	229,956
普通株式の期中平均株式数(株)	1,467,122	1,454,642

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年 1月12日

株式会社ウッドフレンズ

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岩 田 国 良

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山 田 昌 紀

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ウッドフレンズの平成29年6月1日から平成30年5月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成29年9月1日から平成29年11月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成29年6月1日から平成29年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ウッドフレンズ及び連結子会社の平成29年11月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。